

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	白石区土木部維持管理課(864-8125) 建設局みどりの推進部みどりの管理課 (211-2536)
-----	-------	-----------	--

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①川下公園 ②北郷公園 ③豊平川緑地(下流地区)	所在地	①白石区川下2651番地3外 ②白石区北郷8条9丁目 ③豊平川堤外地
告示年月日	①平成7年3月31日 ②昭和52年3月31日 ③昭和43年7月1日	面積	①194,560㎡ ②47,454㎡ ③644,000㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	川下公園、北郷公園、豊平川緑地(下流地区)の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務、有料施設の運営等)		
主要施設	①リラク্সプラザ、野球場、テニスコート、パークゴルフ場 他 ②野球場、パークゴルフ場、テニスコート、ステージ 他 ③サッカー場、テニスコート、野球場、パークゴルフ場 他		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・川下公園コンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、横浜植木(株)北海道支店)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数:3施設 複数施設を一括指定の場合、その理由: 当該施設群は全て公園または緑地施設であり、ほぼ全ての保守管理、修繕業務について共通化することでスケールメリットを活かした経費節減が可能であり、一括管理による効率性が著しいため、一括指定としたもの。		
業務の範囲	公園施設維持管理業務、有料施設の管理運営、ライラック文化の普及啓発業務、公園ボランティアに関する市民活動支援業務、施設の使用承認に関する業務、公園の利用促進に関する事業実施		
3 評価単位	施設数:3施設 複数施設を一括評価の場合、その理由: 管理施設は全て公園または緑地施設で、維持管理、施設内容に関しても類似性があり、また、有料スポーツ施設の利用受付についても、川下公園で一括して行っているため、各施設単位で評価したとしても差異が全く生じないことから、指定単位での一括評価とする。		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>《理念》 私たちは、札幌市民との相互信頼を基に、みどりを通して心豊かな札幌の実現と次代への継承に貢献します。</p> <p>《運営方針》 理念の達成のため、5つの方針(公平、公開、効率、協働、環境)を柱に時代やニーズに即し、公園の価値を高め指定管理者として市民の満足度向上に努めます。</p> <p>《基本方針》 1. 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 2. 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。 3. 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 4. コミュニティ活動の拠点の一つと位置づけ、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。 5. 東洋一を誇るライラックの森の価値を向上させ、「ライラック文化」の発信・普及を行う。 6. リラックスプラザを中心に、屋外・屋内の運動施設を連携させ、幅広い層の心身の元気回復と健康づくりの場としての価値を高める。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>「公共施設としての公園・緑地に来られるお客様の第一の期待は、公園・緑地の平等・公平利用であると考え、お客様の期待以上の満足を持ち帰っていただくことを基本に、公園・緑地の平等利用確保の取り組みを行う」との方針を策定した。</p> <p>方針に沿って、「利用者の平等・公平な利用機会の確保にあたり、研修、指導、啓発等を徹底し、全スタッフの意識を高める」ことに取り組み、不法行為防止の啓発指導、ホームページ等による新鮮な情報提供、コンプライアンス研修等を行いスタッフの能力及び意識の啓発を図った結果、年間のアンケート調査では、接客満足度93.3%、総合満足度93.9%となった。</p>	<p>公園の管理運営を通じてライラック文化の発信を目指すとともに、リラックスプラザを有し三世代が利用する川下公園の特長を踏まえ、理念・運営方針・6つの基本方針に則り管理運営に努めた結果、コロナ禍という特異な状況下ではあったが、概ね良好に業務遂行ができた。</p> <p>情報発信、研修、指導、啓発等を積極的に実施しており、アンケート調査の結果においては、接客・総合満足度ともに札幌市要求水準を大幅に達することができ、コロナ禍における対応を含め良好な接客及び、公園管理ができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。			
A	B	C	D								
業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。											

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出するとともに、公益財団法人札幌市公園緑化協会が運用する環境マネジメントシステムに則した管理運営を行った。
- ▼ 事務用品の購入については、グリーン購入ガイドライン指定品の購入を従来から継続して行っている。
- ▼ スタッフに対して年1回、4月に環境マネジメント研修を実施した。
- ▼ 使用量の大きいリラックスプラザのボイラー用燃料については、平成22年度以降、A重油からエコ重油に転換しており、地球温暖化ガス(二酸化炭素)排出量の大幅削減につながっている。
- ▼ 重油、灯油、軽油、ガソリンなどの化石燃料について節約に努めたものの、使用量としては前年値からの削減には至らなかった。
- ▼ 家庭用廃食油の回収ボックスをリラックスプラザ玄関内風除室に常時設置し、家庭からの廃食油回収を常時行った。
- ▼ 車両を使用する際は、アイドリングストップを励行し、EMSの目的・目標を遵守し、環境に配慮した管理運営に取り組んでいる。
- ▼ 剪定枝、花がら、落葉等の植物残渣をリサイクルし維持管理資材として園内に還元している。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。
- ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を適切に定めた。
- ▼ 仕様書のとおり職員を配置した。また、令和4年度に向けた臨時職員欠員補充は令和4年2月に採用試験を行い、1名を採用した。
- ▼ 研修計画に基づき、コロナ禍における実施の可否を調整し、接遇研修や安全衛生教育等を実施した。
- ▼ 各所定機関に対して労働関係法令に則った申請・報告書を届け出るとともに、スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保するほか、年1回職員の健康診断を行った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

教育訓練、安全講習、造園緑化技術の習得・向上教育等を行い、スタッフのスキル向上を図るとともに、アンケート調査の実施及び分析を行い、利用者ニーズを把握した改善を行った。事故や怪我、苦情については報告書・対応票を作成し、組織全体で即時に情報共有することにより、類似の事故や苦情発生の予防に役立てている。

EMS(環境マネジメントシステム)の職員研修を年度初めに行い、全職員が環境に配慮した公園管理への意識を共有するとともに、ボイラー用Bio重油の使用、園内発生植物残渣のリサイクルや自主イベントでの環境教育の啓発、ゴミの減量化、電気使用量の節約に努め、EMSを適正運用して、環境に配慮した公園管理を行うことができた。引き続き、環境負荷低減に繋がる取組を実施したい。

コロナ禍で少人数で実施していた職員研修・消防訓練など、従来実施していた計画数での訓練に戻し、公園スタッフ全体で教育訓練を実施した。感染状況を見極め実施時期を調整し適切な研修、取組、対応を行うことができた。

スタッフのスキルアップを行うとともに、利用者のニーズ・意見を改善に繋げた。また、組織内での情報共有により、適切な対応ができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

リラックスプラザ設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、車椅子昇降機点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理、排煙設備等建築設備点検等の点検については、指定管理者の直営作業では技術的・効率的な対応が困難であることから、事前に札幌市より承認をいただいた上で専門業者に対する委託を行い、適正な業務遂行を実施した。
また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒清掃を日々実施したほか、常駐する委託業者に対して日々の検温や体調管理の報告などを求め感染防止に努めた。

実施状況の通り、計画に沿って適正に発注・履行確認を実施した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月14日	管理運営に関する経過報告及び利用者からの要望、施設修繕、次年度の計画等について札幌市と協議
<協議会メンバー>	
白石区土木部維持管理課 公園緑化係長、公園緑化係担当職員、事務係長 建設局みどりの推進部みどりの管理課 公園維持係長、公園管理係長、公園管理係担当職員 公益財団法人札幌市公園緑化協会 担当課長、担当職員2名 横浜植木㈱北海道支店長、担当社員	

実施状況の通り開催し、今後の課題の共通認識を図るとともに、次年度の管理運営スケジュールについて協議することができた。

▼ 川下公園利活用協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月13日	コロナ禍の公園運営・事業実施、利用状況や発生事故等の報告
<協議会メンバー>	
北東白石連合町内会、北東白石地区青少年育成委員会、川北小学校、東川下小学校、北都小学校、北都中学校、北海道立白石高校、北東白石児童会館、川北児童会館、北東白石まちづくりセンター、公益財団法人札幌市公園緑化協会川下公園管理事務所	

コロナ禍になり書面会議のみであった協議会を対面で実施した。川下公園の活動・利用状況を説明し、協議会メンバーから要望・称賛を得られるなど今後の運営の糧となる意見交換ができた。

<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。 ▼ 当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。 ▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。 <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>川下公園:施設管理の要望0件、苦情1件 北郷公園:施設管理の要望0件、苦情2件 豊平川緑地:施設管理の要望0件、苦情2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 要望・苦情対応については、親切丁寧かつ迅速に対応し、経過・処置を含めスタッフ間、指定管理者代表本部、札幌市への情報共有ができる体制を整えている。 <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 札幌市の業務検査を受け、適切に対応した。 ▼ アンケートは自主事業の参加者を中心に実施し、要望、意見を管理運営に反映させている。 ▼ 要望、意見については、リラクスパラザ内にアンケートボックスを設置し、管理運営に反映させた。 ▼ 月毎、四半期毎、年度での札幌市への報告は、マネージャーによるセルフモニタリングを記載して報告を行った。 	<p>不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等はなく問題はない。</p> <p>今年度はコロナ禍の影響による無料運動施設の利用に関する苦情があり、利用時間の周知や利用指導を強化し対応した。 また、豊平川緑地米里地区におけるドローン飛行などの行為など、時代の変化による事案の発生もあった。 いずれの事案も今後の管理運営に生かし、同様事案の発生抑制に努めるよう、札幌市と情報共有しながら対処したい。</p> <p>職員の接客態度及び公園の総合評価では昨年度以上の好評価をいただくことができた。今後もこの結果に満足せず、コロナ禍の対応を含め利用者の方に喜ばれるよう努力を重ねたい。</p>
--	--

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金920円(令和4年10月2日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長がリモートワーク等により出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提を求めた。 	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園単位で開催)、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。			
A	B	C	D								
業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。											

	<p>▼正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した結果、非正規職員2名を正規職員に内定した。</p> <p>▼川下公園 1件(スズメバチ刺傷)</p>										
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼ 事故等の発生時に対応するため、緊急連絡体制の確保、消防訓練、災害時の訓練、プール・浴室での事故対応訓練、浴室等の汚物発生時の対応マニュアル化等を実施し利用者の安全確保に努めた。</p> <p>▼ 拾得物取り扱いについては遺失物法に沿ったマニュアルに則り処理・対応をすると共に道警会計課へ特例施設占有者の申請を行い、サービス向上に努めた。</p> <p>▼ 損害賠償責任保険は仕様に適合したものに加入した。</p> <p>また、保険加入の必要な自主事業実施時には、参加者から傷害保険料を支出してもらい対応した。</p> <p>▼ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、リラックスマニエールプラザや管理事務所内で多くの人々が触れる場所の消毒や各所への消毒液の設置、定期的な換気、注意喚起看板(マスク着用・3密回避など)の掲示を行った。自主事業を行う際には、密にならないような内容の工夫を行うだけでなく、スタッフや参加者にも手洗い・消毒の励行や検温を実施し、注意喚起を行った。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼ ライラックの森内に宿根草や一年草でハンギングバスケット等を用いた写真スポットなどを設置するなど、景観向上に努めたところ利用者からは大変好評であった。その後、ハンギングバスケットやプランターに使用した花苗の内、越冬できる物をリラックスマニエールプラザアプローチ階段横花壇に植栽したほか、野球場駐車場植樹樹の表土を鋤取り、宿根草などを植込み公園内の花修景向上や維持管理作業軽減に努めている。</p> <p>▼ ライラックの品種管理については定期的に養生室・ミスト室の修繕及び整備を行うほか、挿し木によって苗木増殖に取り組んだ。</p> <p>▼ 芝生管理については概ね園内の芝生は生育旺盛だがパークゴルフ場内の一部に踏圧による傷みがあるため、目土や播種を行い、維持管理に努めた。</p> <p>▼ 桜の杜及びバラ花壇にウッドチップによるマルチングを行うことで、生育環境の改善に取り組んでいるほか、防草効果による作業効率化を図った。</p>	<p>作業時の利用者への安全対策は、安全作業講習で指示、指導を行い作業による大きな労災事故の発生はなかった。</p> <p>利用者の安全を最優先に考えスタッフへの安全教育を徹底した。</p> <p>過年度、及び他現場での事故事例を検証し再発防止に努めた。</p> <p>各施設間の連携は取れており緊急時の対応もスムーズに行うことができた。</p> <p>公園・緑地の維持管理については状況に応じ、適切な管理ができた。</p> <p>当公園の最大の魅力の一つであるライラックを中心に、園内全体の緑化における景観向上を図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整えた。</p> <p>緊急事態宣言の発令等に伴う施設の閉館期間中は、閉館時にしか実施できない作業を前倒して実施するなど、最大限の創意工夫を行った。</p> <p>公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整えた。</p> <p>緊急事態宣言の発令等に伴う施設の閉館期間中は、閉館時にしか実施できない作業を前倒して実施するなど、最大限の創意工夫を行った。</p> <p>公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。</p>			
A	B	C	D								
<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整えた。</p> <p>緊急事態宣言の発令等に伴う施設の閉館期間中は、閉館時にしか実施できない作業を前倒して実施するなど、最大限の創意工夫を行った。</p> <p>公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。</p>											

	<p>▼ 利用者の安全を確保するため、経年劣化による腐食が著しく、使用禁止にしていた幼児用コンビネーション遊具(リトルタイクス)の撤去を行った。また、園路を横断している側溝(グレーチング)周囲が地盤沈下で陥没している箇所が多く、補修を行い、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>▼ 7/1～8/31カナル・噴水(壁泉は7/16～8/25)を仕様書通り、運転したが期間中2回ガラス片などの散乱が見られたが迅速に清掃及び点検を行い、大きな事故にならず運用できた。</p> <p>▼ 11/28～12/12までの年次整備期間中、貯湯槽清掃消毒、熱交換器洗浄整備、浴室内壁洗浄・消毒、浴室天井再塗装、プールコーキングなど、日常保守点検では行えない特別作業を実施した。</p> <p>▼ リラックスプラザ内第一機械室の温水ポンプが12月28日に故障し浴室プールの営業を中止したが、早急に復旧し年末年始休館明けの1月4日から支障なく営業できた。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼ 消防訓練等の防災計画を策定するとともに、10月に救命講習、3月に消防訓練を実施したほか、専門点検時に不具合が発見された場合は、迅速に修繕を行った。</p>	<p>公園設備の老朽化が激しく突発的な修繕が多くなっているが、予備部品等を事前に用意しておくことで、利用者サービス低下を最小限に留め管理できた。</p> <p>また、事故に繋がりに兼ねない要因は巡視点検を実施することで未然に防ぐことができた。</p> <p>防災訓練は計画通りに実施し、スタッフのスキルアップを図ることができた。</p>																
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 受付・接客業務のレベルアップ</p> <p>▼ スタッフへの苦情・要望等の情報を共有し、接客対応の向上を図った。また、利用者アンケート調査による接客満足度は93.3%であり、札幌市要求水準を満たすことができ、かつ昨年以上の高評価であった。</p> <p>▽ 協働・協力団体との連携</p> <p>▼ ボランティア活動 ・川下公園ボランティア「りらら」 ライラックの花がら摘み、剪定、挿し木を実施した。 登録者数:1人</p> <p>▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>▼ 白石消防署北東白石地区消防団による消防訓練への協力や、北東白石まちづくりセンターによる風揚げ会への協力、北東白石地区青少年育成委員会による「雪あそびフェスティバル」においてテントの貸し出し、雪山作り、雪上ラフティングボートの実施など、地域活動への支援を積極的に行った。また、白石区市民部地域振興課からの、白石区と地域パートナーシップ協定を締結している「白石区ふるさと会」の活動の一環として、毎年参加している「白石ころもどにおける環境美化活動」では、11月に白石サイクリングロードの清掃奉仕活動を実施した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">他公園での苦情等を周知・共有し、接客・対応で同様のトラブル発生抑制を図っている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">川下公園ボランティア「りらら」の登録者は高齢であり、活動も少なくなっているが、次年度以降はより積極的に広報を行い、活動を継続していくことで少しずつでも参加者の獲得に繋がってきたい。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	他公園での苦情等を周知・共有し、接客・対応で同様のトラブル発生抑制を図っている。				川下公園ボランティア「りらら」の登録者は高齢であり、活動も少なくなっているが、次年度以降はより積極的に広報を行い、活動を継続していくことで少しずつでも参加者の獲得に繋がってきたい。				業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。			
A	B	C	D															
他公園での苦情等を周知・共有し、接客・対応で同様のトラブル発生抑制を図っている。																		
川下公園ボランティア「りらら」の登録者は高齢であり、活動も少なくなっているが、次年度以降はより積極的に広報を行い、活動を継続していくことで少しずつでも参加者の獲得に繋がってきたい。																		
業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。																		

▽ 近隣小中学校に関する学習機会の提供業務

▼ 白石区ふるさと会による学生の職業体験「白石でっち奉公」を受け入れ、地域との連携を図ることができた。

・白石区ふるさと会「白石でっち奉公」中学生受け入れ

延べ活動日数:6日

延べ活動人数:45人

▼ 近隣の川北小学校から総合学習への協力依頼を受け、川下公園職員より子どもたちからの公園についての疑問について丁寧に回答し、地域の子どもたちへの環境教育に努めた。

白石でっち奉公の受入により、毎年多くの生徒に公園の存在意義と実務を学ぶ機会を提供することができ、地域との効果的な連携を図ることができた。

▽ さっぽろライラックまつりの開催

▼ 「第64回さっぽろライラックまつり」は、新型コロナウイルスの影響も考慮し、例年より規模を縮小して開催したが、非接触でも楽しめるハンギングバスケットやコンテナ花壇を用いた装飾を強化し対応した。なお、ライラックの魅力発信の強化を図ることを目的として花の見頃期間をPRするため「リラコレ(ライラックコレクション)」と称して5月21日～6月5日までの期間で、イベント内容の充実化と認知度の向上を図った。

・さっぽろライラックまつり参加実績:約7,000人

ライラックまつりは、見頃を迎えたライラックを觀賞するため、多くの来場者を迎えることとなった。特にライラックの苗木を買い求める市民が過去最多となり、川下公園のライラックが市民・観光客に浸透していることが感じられた。

▽ ライラックに関する相談業務

▼ ライラックまつり大通会場及び川下会場にて、ライラックの相談会を実施したほか、電話等での相談にも対応した。

▽ 水中健康教室・ヨガ教室の開催

▼ 新型コロナウイルスの影響により、参加者に高齢の方が多きことを考慮し、年間を通して中止としたが、水中健康教室は再開を待つ声が多いことから、次年度は開催することとした。

計画した自主事業の結果は実施状況のとおり、感染対策を講じながら、多くの参加者に満足していただけた。

▽ フリースタイルダンス教室の開催

▼ 感染対策を行いながら実施した。口コミや広報活動を通じ参加者も増加傾向にあり、次年度は更なる参加者増に期待したい。

・フリースタイルダンス教室参加者数:延べ723人

特にフリースタイルダンス教室は、受講者や保護者からも反響が良く、口コミで受講者が増加している。

▽ PG大会の開催

▼ 令和4年度は6月15日に「夏季パークゴルフ大会in川下公園」、9月7日に「川下公園パークゴルフ秋季大会」を開催した。

・夏季パークゴルフ大会in川下公園参加者数:13人

・川下公園パークゴルフ秋季大会参加者数:22人

しかし、全ての自主事業がコロナ禍前の利用者に戻らず、今後も状況に応じた対策、対応が求められると考えられる。

次年度以降も、気候の変化や社会情勢に素早く対応できる体制を整え、地域一体となった公園の活性化に努めたい。

	<p>▽ ネイチャークラフト講座の開催</p> <p>▼ 12月18日にクリスマスに合わせたまつぼっくりツリー作り、2月12日にひな祭りをテーマとしたクラフト作りを実施し、自然の材料を使ったクラフト講座として好評だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつぼっくりツリー作り参加者数計:19人 ・ひなぼっくり作り参加者数計:17人 <p>▽ 川下公園ラフティングボートの開催</p> <p>▼ 冬のアクティビティ充実と利用者ニーズに応えるため、川下公園ラフティングボートを1月14、15日に予定していたが、両日ともに雪不足によるコンディション不良のため、安全運行ができないと判断し、中止とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川下公園ラフティングボート参加者数:0人 <p>▽ ウィンターフェスティバルの開催</p> <p>▼ 冬季のイベントとして例年ウィンターフェスティバルを開催し、屋外ではスノーラフティングボートやソリ山遊び、スノーキャンドル作り、リラックスプラザ館内ではバスボム作り体験を行い、市民に川下公園の冬を楽しんでいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィンターフェスティバル参加実績:約500人 		
--	--	--	--

(5)施設利用に関する業務

	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度計画</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">浴室・プール (川下)</td> <td>件数(件)</td> <td>20,266</td> <td>-</td> <td>33,608</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>20,266</td> <td>-</td> <td>33,608</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">野球場 (川下)</td> <td>件数(件)</td> <td>152</td> <td>-</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>7,397</td> <td>-</td> <td>10,392</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>27.8</td> <td>-</td> <td>23.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">庭球場 (川下)</td> <td>件数(件)</td> <td>826</td> <td>-</td> <td>1,485</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>5,820</td> <td>-</td> <td>10,532</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>30.4</td> <td>-</td> <td>32.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">パークゴルフ場 (川下)</td> <td>件数(件)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>4,254</td> <td>-</td> <td>6,669</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">サッカー場 (米里)</td> <td>件数(件)</td> <td>356</td> <td>-</td> <td>623</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>16,730</td> <td>-</td> <td>26,199</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>18.6</td> <td>-</td> <td>17.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">野球場 (北郷)</td> <td>件数(件)</td> <td>139</td> <td>-</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>3,323</td> <td>-</td> <td>6,134</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>20.0</td> <td>-</td> <td>18.4</td> </tr> </tbody> </table>			R3年度実績	R4年度計画	R4年度実績	浴室・プール (川下)	件数(件)	20,266	-	33,608	人数(人)	20,266	-	33,608	稼働率(%)	-	-	-	野球場 (川下)	件数(件)	152	-	217	人数(人)	7,397	-	10,392	稼働率(%)	27.8	-	23.8	庭球場 (川下)	件数(件)	826	-	1,485	人数(人)	5,820	-	10,532	稼働率(%)	30.4	-	32.9	パークゴルフ場 (川下)	件数(件)	-	-	-	人数(人)	4,254	-	6,669	稼働率(%)	-	-	-	サッカー場 (米里)	件数(件)	356	-	623	人数(人)	16,730	-	26,199	稼働率(%)	18.6	-	17.3	野球場 (北郷)	件数(件)	139	-	197	人数(人)	3,323	-	6,134	稼働率(%)	20.0	-	18.4		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>新型コロナウイルス感染症対策による行動制限緩和に伴い、プール・浴室利用者数は増加し、コロナ禍からの回復も兆しが現れ前年比165.8%であった。</p> <p>有料運動施設においては、いずれの施設においても前年度より利用件数、及び利用人数は増加した。</p> <p>施設利用あたっては、継続してコロナ感染対策を行い、浴室・プールでは利用時前の検温、更衣ロッカーを始め更衣室の消毒・換気を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の行動制限緩和による施設利用者の増加傾向は望ましいと考える。感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整え、円滑な施設運営に努めたことは評価する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>新型コロナウイルス感染症対策による行動制限緩和に伴い、プール・浴室利用者数は増加し、コロナ禍からの回復も兆しが現れ前年比165.8%であった。</p> <p>有料運動施設においては、いずれの施設においても前年度より利用件数、及び利用人数は増加した。</p> <p>施設利用あたっては、継続してコロナ感染対策を行い、浴室・プールでは利用時前の検温、更衣ロッカーを始め更衣室の消毒・換気を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の行動制限緩和による施設利用者の増加傾向は望ましいと考える。感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整え、円滑な施設運営に努めたことは評価する。</p>			
		R3年度実績	R4年度計画	R4年度実績																																																																																										
浴室・プール (川下)	件数(件)	20,266	-	33,608																																																																																										
	人数(人)	20,266	-	33,608																																																																																										
	稼働率(%)	-	-	-																																																																																										
野球場 (川下)	件数(件)	152	-	217																																																																																										
	人数(人)	7,397	-	10,392																																																																																										
	稼働率(%)	27.8	-	23.8																																																																																										
庭球場 (川下)	件数(件)	826	-	1,485																																																																																										
	人数(人)	5,820	-	10,532																																																																																										
	稼働率(%)	30.4	-	32.9																																																																																										
パークゴルフ場 (川下)	件数(件)	-	-	-																																																																																										
	人数(人)	4,254	-	6,669																																																																																										
	稼働率(%)	-	-	-																																																																																										
サッカー場 (米里)	件数(件)	356	-	623																																																																																										
	人数(人)	16,730	-	26,199																																																																																										
	稼働率(%)	18.6	-	17.3																																																																																										
野球場 (北郷)	件数(件)	139	-	197																																																																																										
	人数(人)	3,323	-	6,134																																																																																										
	稼働率(%)	20.0	-	18.4																																																																																										
A	B	C	D																																																																																											
<p>新型コロナウイルス感染症対策による行動制限緩和に伴い、プール・浴室利用者数は増加し、コロナ禍からの回復も兆しが現れ前年比165.8%であった。</p> <p>有料運動施設においては、いずれの施設においても前年度より利用件数、及び利用人数は増加した。</p> <p>施設利用あたっては、継続してコロナ感染対策を行い、浴室・プールでは利用時前の検温、更衣ロッカーを始め更衣室の消毒・換気を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の行動制限緩和による施設利用者の増加傾向は望ましいと考える。感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整え、円滑な施設運営に努めたことは評価する。</p>																																																																																														

<p>▽ 不承認、取消し、減免、還付</p> <p>▼不承認 0件 ▼取消し 0件 ▼減免 93件 川下公園テニスコート 11件 川下公園野球場 82件 豊平川緑地サッカー場 0件 北郷公園野球場 0件</p> <p>▼還付 92件 川下公園テニスコート 32件 川下公園野球場 12件 豊平川緑地サッカー場 30件 北郷公園野球場 11件 北郷公園野球場照明 7件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>【プール・浴室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族割引実施 ・敬老の日(9月19日)は高齢者料金(65歳以上)を無料とした ・川下公園共通「Kポイントカード」実施 ・浴室、プールレンタル品の貸出(水泳帽、ビート板等) <p>【パークゴルフ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川下1日券実施 ・パークゴルフ・浴室共通券実施 ・家族割引実施 ・敬老の日(9月19日)は高齢者料金(65歳以上)を無料とした ・スポーツの日(10月10日)は利用料金を無料とした ・利用者還元策(スタンプカード)実施 ・川下公園共通「Kポイントカード」実施 ・クラブ・ボールの洗い場を設置 ・レンタルクラブ貸出 <p>【川下公園・北郷公園野球場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定ベースを設置 ・グラウンド整備道具の増設 <p>【川下公園テニスコート・野球場、北郷公園野球場、米里サッカー場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの日(10月10日)は利用料金を無料とした ・レンタルテニスラケット貸出 	<p>今後も利用者のニーズに応え、且つ、利用促進に繋がるような利用券発行、運動用器具貸出しサービス等について検討し実施したい。</p>
---	---

(6)付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	<p>▼ 新型コロナウイルス感染防止対策に関する公園施設の対応を迅速かつ正確に利用者へ伝えることを目的として広報を行い、施設情報や感染防止対策の発信、利用者の感染防止を考慮した取り組みに努めた。</p> <p>▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。</p> <p>ホームページ閲覧数</p> <p>①川下公園 140,175件(昨年度比 117.9%)</p> <p>②北郷公園 8,867件(昨年度比 115.4%)</p> <p>③豊平川緑地 11,789件(昨年度比 101.8%)</p> <p>・メールフォームの活用</p> <p>公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。</p> <p>▼ 自主事業の広報チラシ・ポスターを作成した際は、連携する公共施設窓口、町内会、近隣学校関係、観光案内所等に配布するとともに、マスメディアへの投げ込みも行い、集客を図った。</p> <p>▼ さっぽろライラックまつりの広報は、札幌市観光企画課、一般社団法人札幌観光協会と連携し、大通会場と連携した広報活動を行った。</p> <p>▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和5年3月29日に公開した。</p> <p>▼ プレスリリースの活用</p> <p>新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中は開花情報やイベント情報等の告知を自粛したが、緊急事態宣言の解除以降はプレスリリースを行い、媒体に取り上げていただく機会を増やした。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>広報業務は、広報さっぽろをはじめ、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディアなどの媒体活用のほか、ライラックまつりでは新聞折込を行った。ホームページのリアルタイムな情報発信は、コロナ禍での市民の情報取得手段として有効であったことから、利用の可否や制限の有無について効果的に活用することができ、市民サービスの向上に繋がった。各公園及び緑地のホームページ閲覧数は、前年度を上回っており、市民の関心度の高さも窺えた。今後もこまめに情報発信することで公園利活用の活性化とサービスの向上につなげたい。</p>	<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。HPの情報更新が適時・適切になされており、情報提供ツールとして有効に機能している。</p>

2 自主事業その他

自主事業		A B C D
<p>▽ 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ ライラックまつりin川下公園を開催したほか、コロナ禍の影響により開催を見送ってきた自主事業を感染対策を講じながら実施することが出来た。 ▼ レストラン(リラパーク、臨時売店)、自販機手数料事業 売上高2,918千円 ▼ イベント事業(ダンススクール等) 売上高736千円 ▼ 売店事業(リラックスプラザ受付、プール・浴室受付、パークゴルフ受付) 売上高1889千円 ▼ 施設事業収入(水中健康教室) 売上高0円 ▼ その他収入(広告収入・振替収入) 売上高0円 <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ リラックスプラザの設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、車椅子昇降機点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理についての第三者委託は市内企業に発注した。 ▼ 浴室・プール用の水中車椅子2台を常備している。 ▼ 障がい者用駐車スペースを確保した。 ▼ 冬期間駐車場での転倒防止のため、砂・凍結防止剤の散布を行った。 ▼ リラックスプラザに設置している車椅子昇降機は専門業者と保守点検契約を結び、故障には迅速に対応している。 ▼ 公園・緑地のバリアフリー情報をホームページで公開した。 <p>▽ 新型コロナウイルス感染拡大防止への対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 公園スタッフの検温実施・記録、各所へのアルコールの設置、1時間毎の換気作業、食堂へのパーテーション設置・座席の間引き、更衣室ロッカーの間引き、ドライヤーエリアへのパーテーション設置、リラックスプラザ・浴室・プールの利用人数制限、浴室・プール利用者の問診票記入、屋内遊具の消毒清掃、館内の適時消毒作業、職員事務所への飛沫防止パーテーション設置、応接室への飛沫防止パーテーション設置、空気清浄機の設置、レストランの時短営業、風船の使用禁止、水飲み台・ジェットタオルの使用禁止、入り口通路の出入口区分け 	<p>パークゴルフ大会や各種講座、ダンス教室を実施し、積極的に公園の利活用につなげることができた。</p> <p>本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、レストランの営業に際しては、飛沫飛散防止パーテーションの設置、座席の間引き、空気清浄機の設置、定期的な換気などのほか、スタッフの毎日の検温・体調管理を徹底し感染防止対策に努めた。</p> <p>委託業者はすべて市内企業のみを活用した。</p> <p>物品・資材等の購入は、市内企業を積極的に活用した。概ね計画通り実施できた。</p> <p>ライラックまつり開催時に障がい者支援団体が印刷したポストカードをクイズラリーの景品とするため業務発注を行った。</p> <p>可能な限りの消毒や換気、飛沫飛散防止に努めながら新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めることができた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策の行動制限緩和により各種事業が一部復活し、公園の利活用につながったことは望ましいものとする。</p> <p>レストラン営業について、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の適切な対応を行ったことについては評価する。</p>

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	川下公園(自主事業:ネイチャークラフト講座含む)利用者に対してアンケートを6回実施し、165人から回答を得た。
結果概要	総合的な満足度は、要求水準70%に対し93.9%となり、20ポイント以上上回る結果となった。 ・接遇に関する満足度は要求水準80%に対し93.3%となり、10ポイント以上上回った。 ・来園目的としては、イベントに参加するためが46.1%と多く、次いで「子どもの遊び」が35.8%となった。 ・公園情報の入手方法は、公式ホームページが34.2%と一番多く、続いて知人・家族から聞いてが23.2%と多かった。 ・利用者の来場地は、白石区が30.2%と圧倒的に多く、次いで豊平区・東区が10%程度となった。 ・来場者構成では、家族でが52.1%と半数を占めた。
利用者からの意見・要望とその対応	【意見・要望等】 「職員の接客マナーが良かった」、「スタッフが親切」などの称賛の意見や「リラックスマナーで持ち物を食べる場所がない」、「ライラックのまつりの無料配布は市民にあまり知られていないのでは」などの意見・要望があった。 【対応等】 コロナ禍も緩和する方向に伴い、情報コーナー内で飲食可能にしたほか、次年度以降無料配布の案内を様々な媒体を使って広報したい。

今年度は川下公園スタッフの接遇に関する称賛の意見が多く満足度が93.3%となった。コロナ禍で利用者とスタッフが直接接することが少なく、サービス向上について対応が難しい一年であったが、スタッフ内の情報交換や接遇研修等の成果が現れた結果となった。
 今後も多くの利用者に満足していただける施設になるように様々な研修を積み重ねたい。

A	B	C	D
総合満足度・接客満足度ともに、要求水準を上回っており、適切と判断する。 要望・苦情については、親切・丁寧かつ迅速に対応している。			

4 収支状況

▽ 収支 (千円)			
項目	R4年度計画	R4年度決算	差(決算-計画)
収入	181,803	187,510	5,707
指定管理業務収入	175,843	180,113	4,270
指定管理費	157,869	162,881	5,012
利用料金	17,974	15,960	▲ 2,014
その他	0	1,272	1,272
自主事業収入	5,960	7,397	1,437
支出	181,803	191,138	9,335
指定管理業務支出	180,162	186,720	6,558
自主事業支出	1,641	4,418	2,777
収入-支出	0	▲ 3,628	▲ 3,628
利益還元	0	0	0
法人税等	0	596	596
純利益	0	▲ 4,224	▲ 4,224

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書」により5,012千円の増となった。
- ▼ 利用料金収入は、コロナ収束後も回復せず、施設利用が低調となったため、計画より2,014千円の減となった。
- ▼ 自主事業収入は、売店収入や手数料収入が増加し、計画より1,437千円の増となった。
- ▼ その他収入は特定費用準備資金取崩収入1,272千円による。
- ▼ 指定管理業務支出は、光熱水費の高騰のため、計画より6,558千円の増となった。
- ▼ 自主事業支出は、事務局経費等の増加のため、計画より2,777千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、収益の約半分を繰り入れている。

収入については、コロナ収束後の利用者数の回復はみられるものの、計画数値には到達しなかった。

一方、自主事業については、新型コロナウイルスの規制緩和の流れから次年度以降期待もてる。

特にライラックの苗木販売は過去最高の売り上げとなったため、今後も需要に対応できるように生産し増収を図りたい。

A	B	C	D
収入はコロナ収束後の利用者回復が見込まれることから、今後の計画数値達成に期待したい。			
自主事業はライラック苗木販売が過去最高の売上計上となったことを評価したい。今後もさらなる増収に繋げてもらうことを期待する。			

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼当協会の財務状況等は、令和4年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>[川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)] 川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)の管理運営に関して、コロナ禍の規制緩和が進む中、市民サービスを低下させることなく、公園施設を安心して利用できるように対応できた。 また、市民からの苦情や意見についても柔軟に対応し、より地域に根付いた公園を目指しながら運営できた。</p> <p>▼川下公園 ▽緑地管理においては、大雪による、枝折れ、枯損木が例年の比にならないほど多く、利用者が多くなる前の雪解け時に、重点的に処理し事故が無いように努めた。 ライラック管理では枯死により空いた植え床に、3年程苗圃で育成したライラックを40株以上補植し、健全に育成できた。 バラ管理では、利用者の多いカナル横に植栽されているため、除草回数を増やし景観に務めた。 ▽施設管理においては、近年菓子や飲み物容器などのゴミが捨てられることが多く、毎朝重点的に清掃し対応した。 園路管理では、雪解け後の平板割れや欠けが多く、専門業者による平板修繕を実施するほか、直営作業においてガタ付きなどの修繕を行った結果、事故はなかった。 近年、トイレの汚水管閉鎖によるトラブルが多発している。主な原因は樹木の根が汚水管に侵入し汚物が絡み閉鎖するためだが、定期的に根切りを実施し、トイレが詰まって利用できなくなることがないように務めた。 年次整備では、浴室の防カビ塗装やプールの目地補修など実施するほか専門業者による配管洗浄等、利用者が安心安全に利用できるように整備を実施した。 ▽新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、検温機やアルコールの設置を行うほか、世の中の動向に応じ、リラックスプラザ館内での飲食ができるエリアを設置するなど規制緩和についても臨機応変に対応した。</p>	<p>[川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)] 老朽化する施設を更新・修繕・廃止するなど現状の利用に応じた活用方法の順位付けが必要となっている。特に川下公園リラックスプラザについては、公園造成当時と利用状況が変化しているため、利用者動向を踏まえながら今後の公園のあり方を検討したい。</p> <p>▼川下公園 ▽長年継続した川下公園によるライラック普及啓発の効果もあり、ライラックを入手したい市民が増えており、更なる普及啓発のため増産体制を作る必要がある。今後ライラックまつり等で配布できる苗を増やせるように植え床の整備を実施したい。 ▽川下公園はライラックとバラの修景が緑地のメインであるため、ハンギングバスケットやコンテナ花壇を用いた修景作りにも重点を置き、グリーンシーズンの景観を整えたい。 ▽施設管理においては、軟弱な地盤が影響し、不陸や排水不要が園内の至るところで見られる。大雨後利用者が園路を利用できないこともあるため、園路の勾配等を考慮し改善に向けて計画したい。 ▽老朽化による突発的な修繕が増えている。特に配管やバルブのトラブルが多く、今後地震等の影響を受け、破損が懸念されている。配管のトラブルは施設全体に及んでいるが、より重要な配管に関しては予防的に修繕を実施したい。 ▽1999年にオープンした川下公園も約24年経ち、当初想定していた利用方法やあり方も時代とともに変化しているため、管理コストや市民サービスの動向を踏まえながら新しい公園のあり方を検討し、より利用者満足度を上げられるような取組みや運営方法を実施したい。</p>

<p>▼北郷公園 ▽緑地管理においては、概ね作業工程通り実施できた。また、落葉等で集水桝が詰まり、近隣道路を冠水させることがないように、大雨時は小まめに巡視点検に重点を置くなどの対策を講じた。 ▽近年未成年者の公園利用について、近隣住民からの苦情が多く、特に夜間・早朝のバスケットコートの騒音が度々問題となったが、夏期には断続的に夜間巡視点検を実施するなどの対策を講じた。</p> <p>▼豊平川緑地(下流地区) ▽計画及び緑地内の状況に応じて、計画業務実績表のとおり作業を実施し、概ね計画通り管理作業を行うことができた。 ▽公衆トイレの手洗い器が割られる被害があったが迅速に修繕を行い適切に対応した。 ▽8月と9月に有料サッカー場において大雨による冠水があったが雨水桝を開放し、利用に支障が無いよう対応できた。 ▽利用者指導やマナー啓発活動については、バーベキューをする利用者が多く、発見次第中止するように指導を行ったほか、ゴミの投棄があった場合には他の利用者が不快に思う前に回収するなど適切に管理ができた。また、昨年度同様に米里パットゴルフ場で不特定多数の男性が風紀を乱す行為を行っていた事案については、引き続き警察に警邏強化を依頼するとともに、看板設置や巡回頻度を高め、抑制を図ることが出来た。</p>	<p>▼北郷公園 ▽住宅地から近いバスケットコートのあり方については、住民アンケートを実施し今後の方針を定めたい。 ▽野球場やパークゴルフ場などの利用者が路上駐車をすることが度々見られ、近隣住民の迷惑になっていることから、野球場利用者には電話にて利用案内をするほか、巡視点検の強化などで対策したい。</p> <p>▼豊平川緑地(下流地区) ▽近年、違法行為やマナーを守らない利用者が増えているが昨年同様にドローンなどの禁止行為や他の利用者が不快に思うような行為が見受けられる。こういった行為については、引き続き指導を行い、誰もが安心して利用できる緑地管理に取り組みたい。 ▽有料サッカー場駐車場の樹木が大きく成長しているため、車の利用に支障が出る前に剪定及び伐採等に対応したい。</p>
--	---

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策の行動制限緩和となったが、相変わらず管理業務や自主事業の実施に苦慮する場面があった。そのうえで利用者の安全面に最大限配慮し、出来得る対応をしっかりと行ったことで、利用者の満足度を高めることができた。以上のことから、適切な維持管理がなされたものと評価する。</p>	<p>改善指導を行う点は特にないが、施設の老朽化を考慮した適切な維持管理や中長期的な視点も踏まえた適切な緑地管理を引き続きお願いしたい。今後コロナの行動制限緩和により利用者の回帰が見込まれるが、状況を見極めながら自主事業の実施、特に売り上げ最大を計上したライラック苗木販売など今後の収入増が見込まれる分野を開拓し、利益還元につなげてもらうことも期待したい。</p>